

平成 25 年度  
事業概要

平成26年3月

国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所

# 目 次

1. 静岡国道事務所の概要	1
2. 平成 25 年度 事業費および事業のポイント	2
(1) 多様な交流と活力ある「静岡」づくり	
1) 国道 1 号 静清バイパス	4
2) 国道 1 号 静清バイパス (清水立体)	6
3) 国道 1 号 富士由比バイパス (寺尾交差点立体化)	8
4) 国道 139 号 富士改良	10
(2) 安全安心な「静岡」の暮らしを実現	
1) 維持管理関係	12
2) 交通安全関係	19
(3) 美しく快適なまち「静岡」の創出	
1) 国道 1 号 無電柱化	24
2) ボランティアサポートプログラム 道路の美化・清掃に顕著に貢献頂いた団体を表彰 静岡県内【中学生の部】初！ ～平成 25 年度「道路ふれあい月間」推進標語で優秀賞受賞～	25
3. トピックス	
○新東名高速道路 御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 間 開通後 1 年間の交通状況	7
○寺尾交差点における下り線分流ランプ開通のお知らせ ～今年度中の完成に向けて工事推進中！～	9
○「地域の主要渋滞箇所」の公表について ～官民一体で静岡県内の主要渋滞箇所を選定～	11
○平成 26 年 2 月 14 日～15 日の大雪に伴う雪害対応について	14
○西伊豆町への緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) による支援活動について ～平成 25 年 7 月 17 日～18 日の大雨に伴う災害～	15
○ 静岡国道事務所管内防災訓練を実施しました ～南海トラフ巨大地震等の災害に備えて～	16
○自治体職員・事務所職員を対象に橋梁管理に関する勉強会を実施しました 静岡国道事務所職員による橋梁パトロール ～橋の健康状態を橋に聞く～	17
○国道 1 号静清バイパス賤機山トンネル (上り線) の天井板を撤去しました！！	18
○国道 1 号清水駅前交差点改良 ～人にやさしく安全な交差点～	20
○ 1 号静清バイパス自転車安全利用ワークショップについて	21
第 5 回 1 号静清バイパス自転車安全利用ワークショップを開催しました！！	22
○日本風景街道 ～静岡国道事務所管内の風景街道の紹介～	26
～日本風景街道大学・ふじのくに静岡校～	27



## 2. 平成 25 年度 事業費および事業のポイント

### (1) 平成 25 年度 事業費

	事業名	【百万円】			
		H25		H24	
		当初	補正	当初	補正
道路改築関係	国道1号 静清バイパス	4,353	1,070	4,100	600
	藤枝岡部IC関連			25	
	国道1号 富士由比バイパス	805		535	400
	国道139号 富士改良	904	200	330	61
	小計	6,062	1,270	4,990	1,061
電線共同溝関係		430		450	75
交通安全関係		1,374	66	1,391	217

### (2) 平成 25 年度 事業のポイント

#### 1) 多様な交流と活力ある「静岡」づくり

##### ■ 国道1号 静清バイパス 4車線化工事の推進

- ① 鳥坂IC～千代田上土IC(延長 2.8km)
  - ・平成 26 年度 完成 4 車線供用に向け工事推進
- ② 羽鳥IC～牧ヶ谷IC(延長 0.5km)
  - ・平成 26 年度 完成 4 車線供用に向け工事推進
- ③ 牧ヶ谷IC～丸子IC(延長 3.0km)
  - ・平成 30 年度 完成 4 車線供用に向け調査設計および工事推進
- ④ 清水立体(延長 2.4km)
  - ・工事着手に向け用地買収および調査設計推進

##### ■ 渋滞解消事業の推進

###### ○ 国道1号富士由比バイパス

- ・主要渋滞箇所である寺尾交差点の平成 25 年度立体化供用に向け工事推進

###### ○ 国道 139 号富士改良

- ・(都)津田蓼原線～(県)富士由比線間(延長 0.7km)については、平成 27 年度部分供用に向け工事推進
- ・(都)前田宮下線～(都)津田蓼原線間(延長 0.8km)については、用地買収及び調査設計推進

#### 2) 安全安心な「静岡」の暮らしを実現

##### ■ 橋梁補修、耐震補強及び防災対策の推進

- ・老朽化が進行する橋梁の補修、東海地震等に備えた橋梁の耐震補強を推進
- ・雨量規制区間内の防災対策実施
- ・東海・東南海・南海地震対策として、「道の駅」の防災機能の強化に向けた施設整備を推進

##### ■ 交通安全対策の推進

- ・『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的に交通事故・安全対策を推進

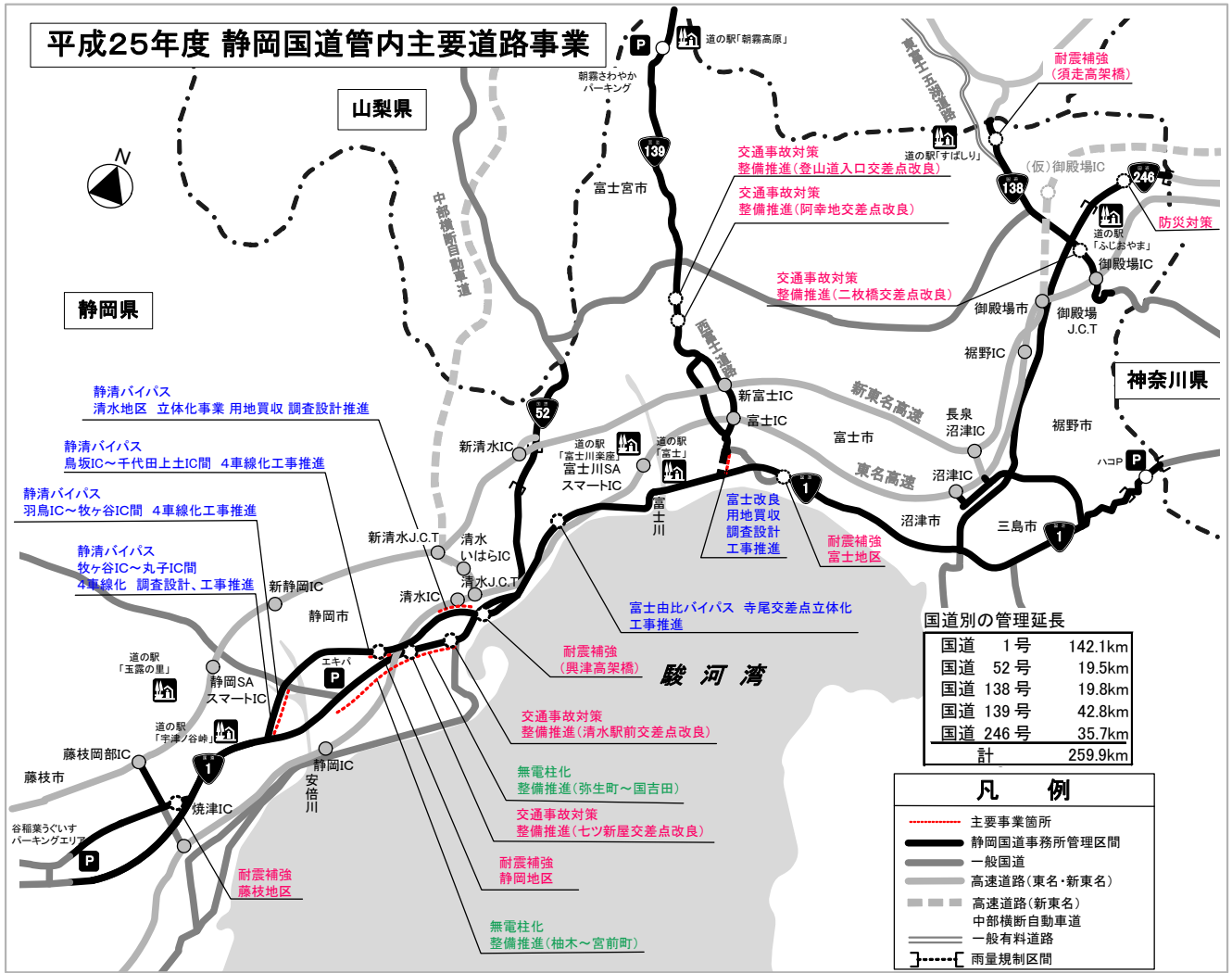
### 3)美しく快適なまち「静岡」の創出

#### ■国道1号 無電柱化の推進

・歩道上の電柱や電線類をなくし、快適で安全な歩道空間とするために、無電柱化を推進

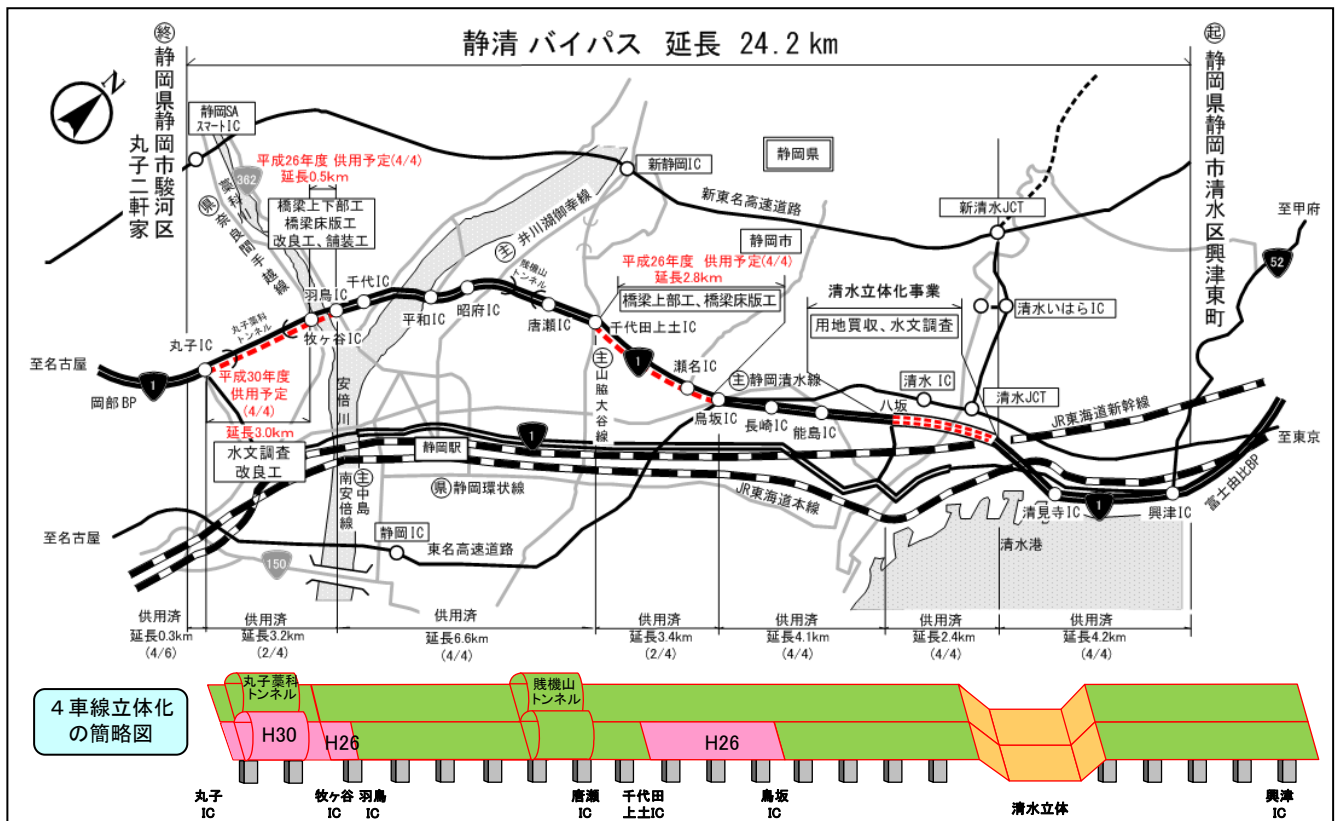
#### ■地域と協働した道路美化対策(ボランティアサポートプログラム)

・地域の方々と協働して、歩道の清掃、花壇の整備を行って頂き、快適な歩道空間を確保



# 国道1号 静清バイパス

国道1号静清バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静清都市圏の発展の支援等を目的に計画された静岡市清水区興津東町から静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの幹線道路です。



## 事業進捗状況

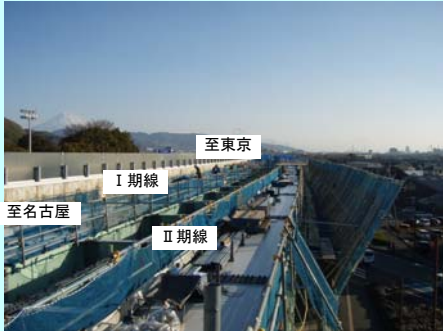
- ・静清バイパスは、平成9年3月に全線暫定2車線にて供用しました。
- ・平成26年度には、鳥坂IC～千代田上土IC間及び羽鳥IC～牧ヶ谷IC間が4車線供用する予定です。また、平成30年度には牧ヶ谷IC～丸子IC間が4車線供用する予定です。
- ・引き続き平面区間の立体化および暫定供用区間の4車線化を推進し、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ります。

【平成25年度の主な事業内容】	
◆清水立体	用地買収、水文調査
◆鳥坂IC～千代田上土IC	橋梁上部工事、橋梁床版工事
◆羽鳥IC～牧ヶ谷IC	橋梁上下部工事、橋梁床版工事、道路改良工事、舗装工事
◆牧ヶ谷IC～丸子IC	水文調査、道路改良工事

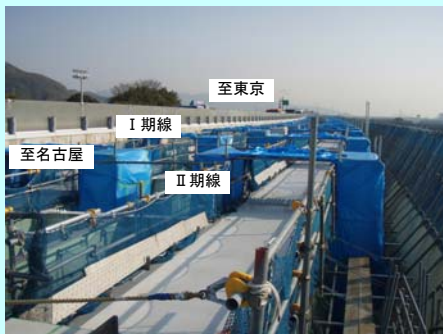


静岡バイパス 工事状況写真

① 鳥坂高架橋



平成 26 年 1 月撮影



平成 26 年 2 月撮影

II期線のコンクリート打設準備をしています。

② 瀬名高架橋



平成 26 年 1 月撮影



平成 26 年 2 月撮影

II期線上部工の架設が完了しました。

④ 牧ヶ谷 IC (上り線オンランプ)



平成 26 年 1 月撮影



平成 26 年 2 月撮影

オンランプ橋の上部工を架設しました。

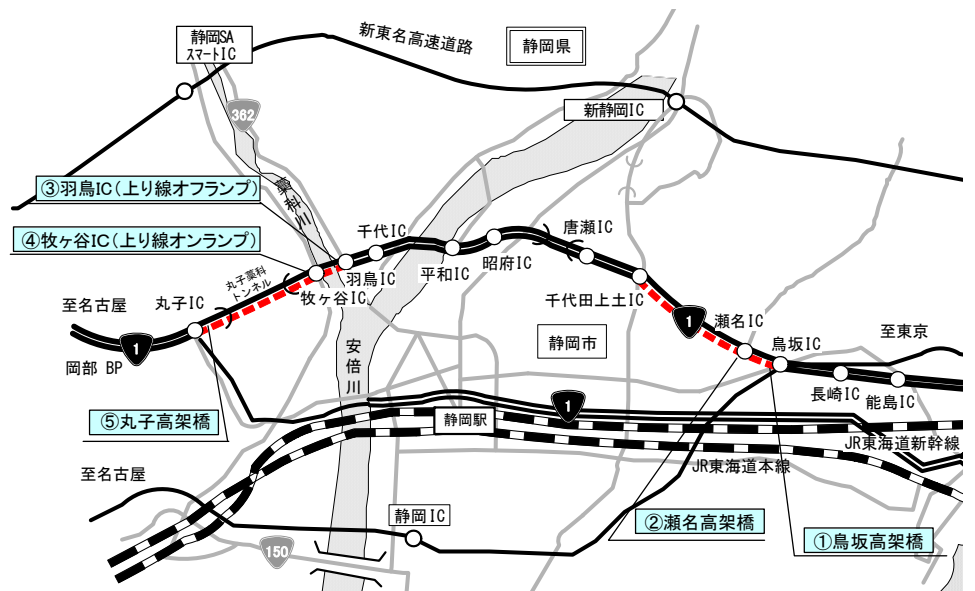
③ 羽鳥 IC (上り線オフランプ)



平成 26 年 2 月撮影

ランプの壁高欄を施工しました。

写真位置図



⑤ 丸子高架橋

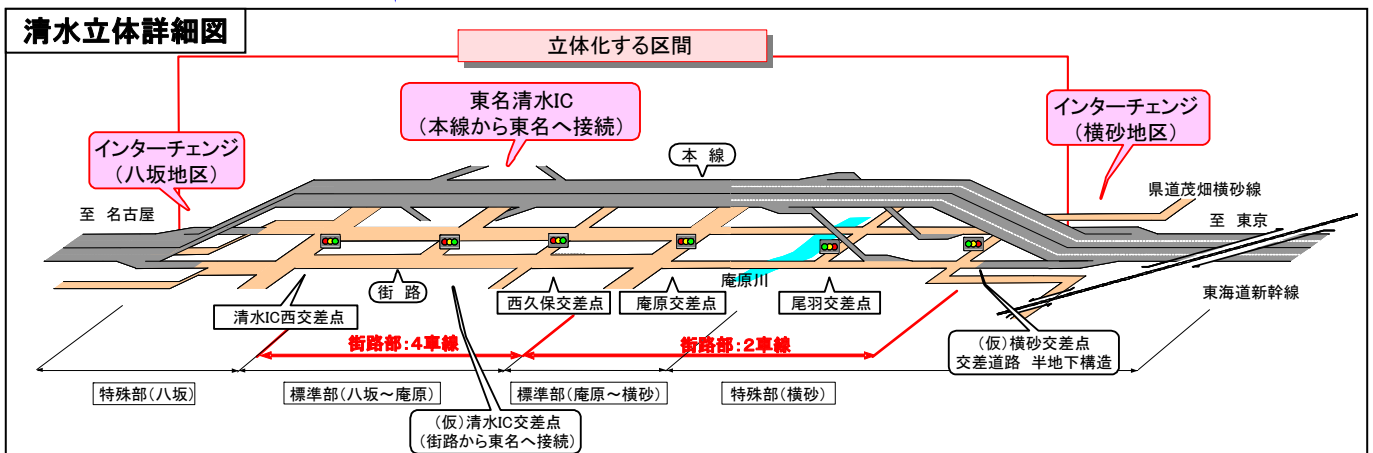
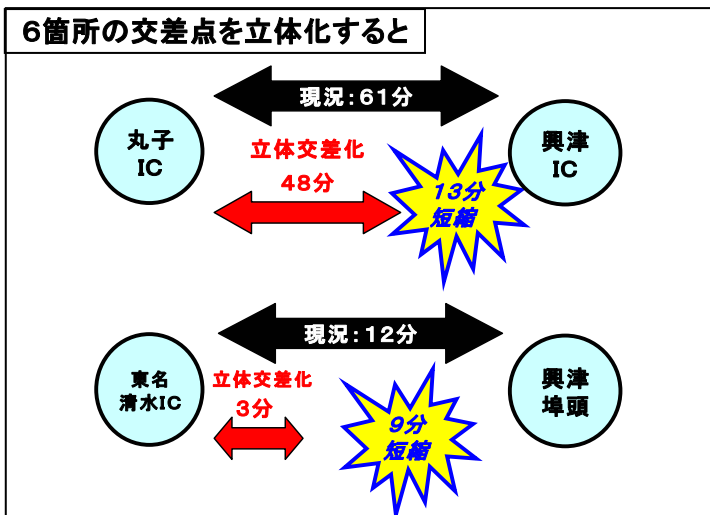
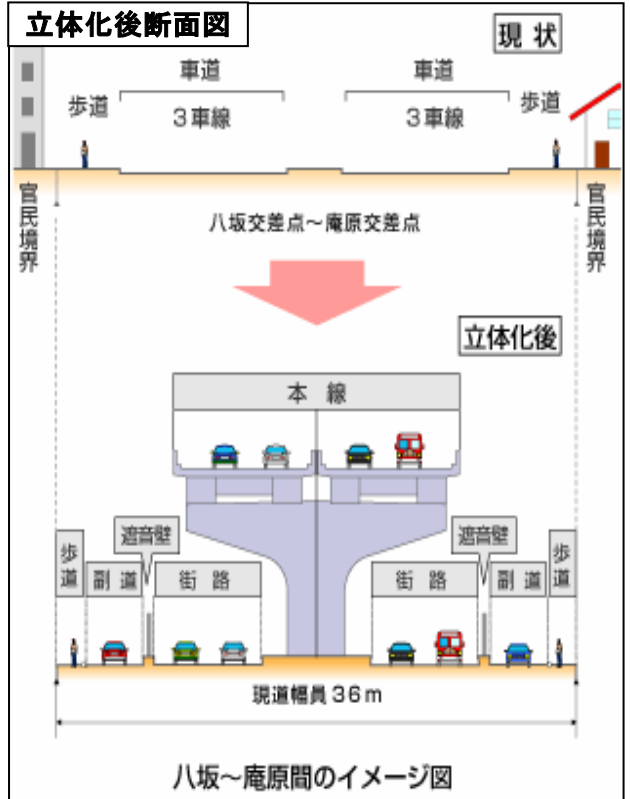
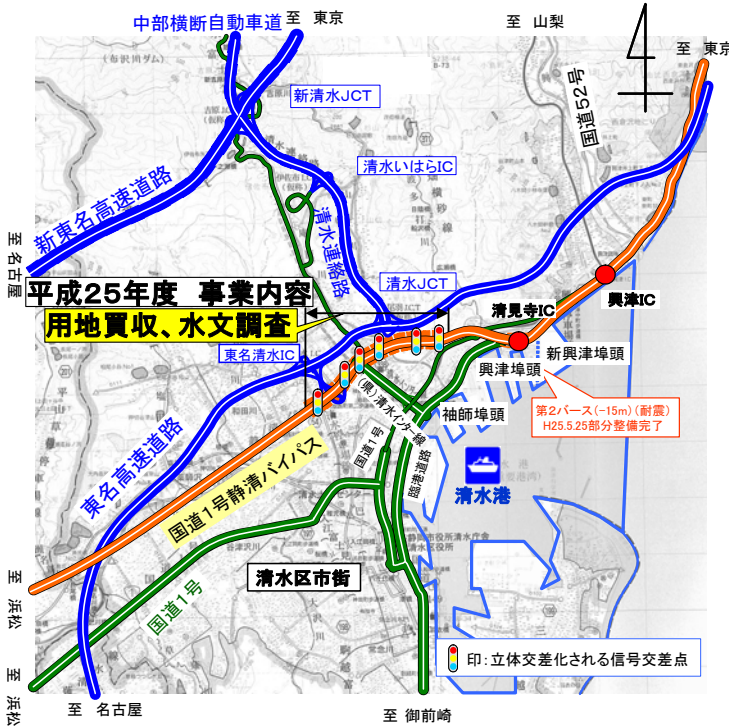


平成 25 年 11 月撮影

II期線の下部工の一部が完成しました。

# 国道1号静岡バイパス 清水立体

国道1号静岡バイパスのうち、既に平面部として供用している静岡市清水区横砂から同区八坂にかけて、渋滞緩和、交通事故削減、沿道環境改善を目的として立体化を行います。





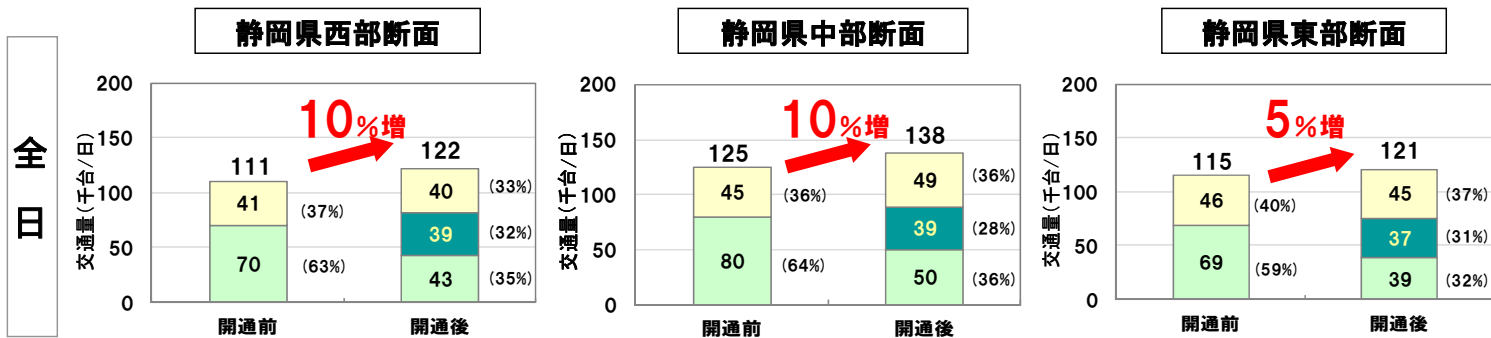
## 新東名高速道路 御殿場JCT～三ヶ日JCT間 開通後1年間の交通状況

新東名高速道路の静岡県内区間のうち、御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの延長約162kmが、平成24年4月14日(土)15時に開通しました。

「新東名(静岡県)インパクト調整会議」において、開通後1年間の交通状況をとりましたので、お知らせします。

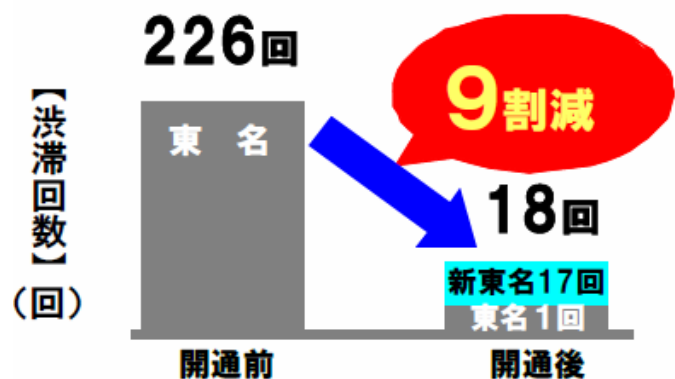
### 【県内の主要断面における平均交通量(新東名・東名・国道)の変化】

・国道は全体的に大きな変化はなし(静清BP4車化の中部断面は増加)



### 【渋滞状況の変化】

開通後1年間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は18回でした。昨年同時期に東名の静岡県内で発生していた渋滞回数と比較すると、約9割減少しました。



### 【救急車の搬送時間の変化】

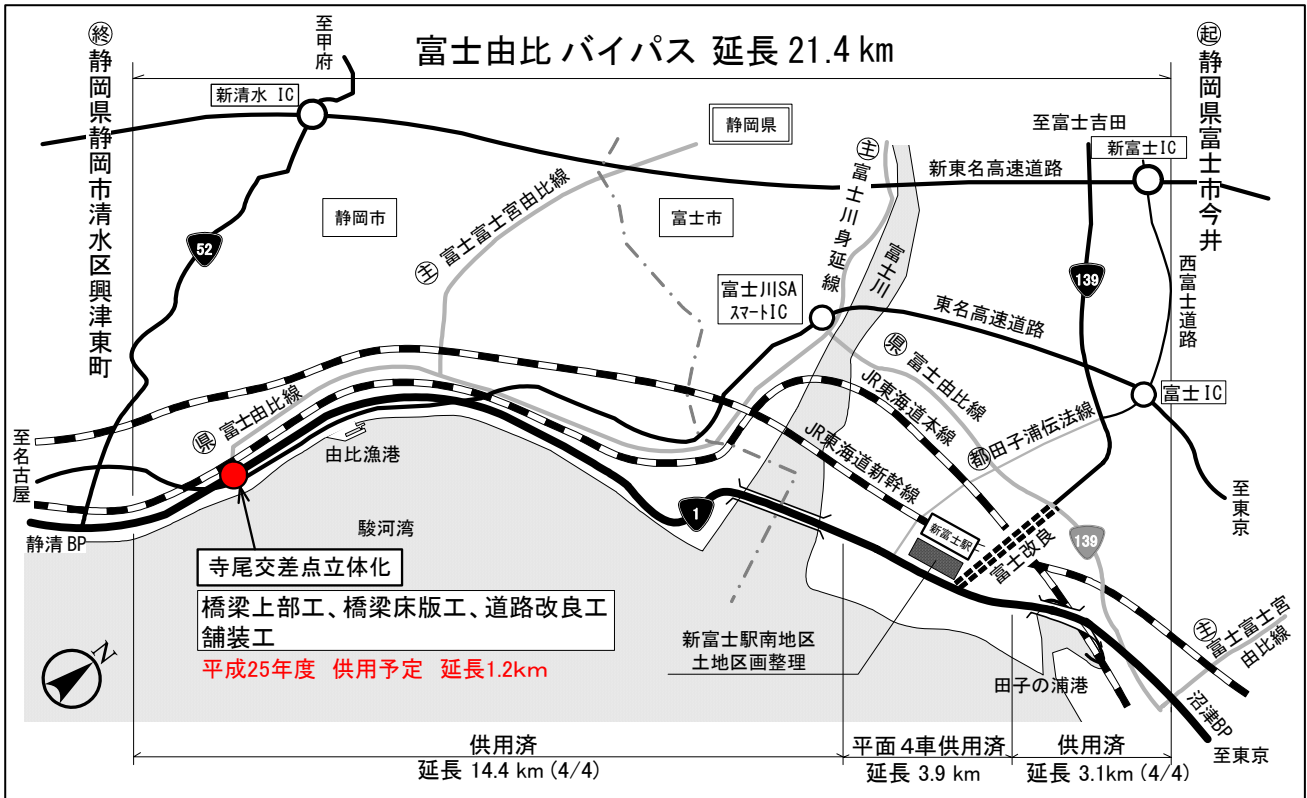
市内の救急搬送等で新東名が利用され、搬送時間が短縮し、傷病者への負担も軽減されています。清水区矢原地区から静岡県立総合病院への搬送時間は、新東名開通後28分短縮し、20分で病院に到着が可能となりました。



# 国道1号 富士由比バイパス

## 寺尾交差点立体化

国道1号富士由比バイパスは、静岡市、富士市の市街地の交通混雑の解消、沿線の生活環境の改善を目的に計画された富士市今井から静岡市清水区興津東町に至る延長21.4kmの幹線道路です。



### 事業の効果

寺尾交差点を先頭に、朝ピーク時に上り方向で最大2km程度の渋滞が発生しています。そのため、交差点を立体化し、交通渋滞の緩和、交通事故の削減を図ります。平成25年度に立体化供用する予定です。

### 【平成25年度の主な事業内容】

◆橋梁上部工、橋梁床版工、改良工、舗装工

### 工事状況写真



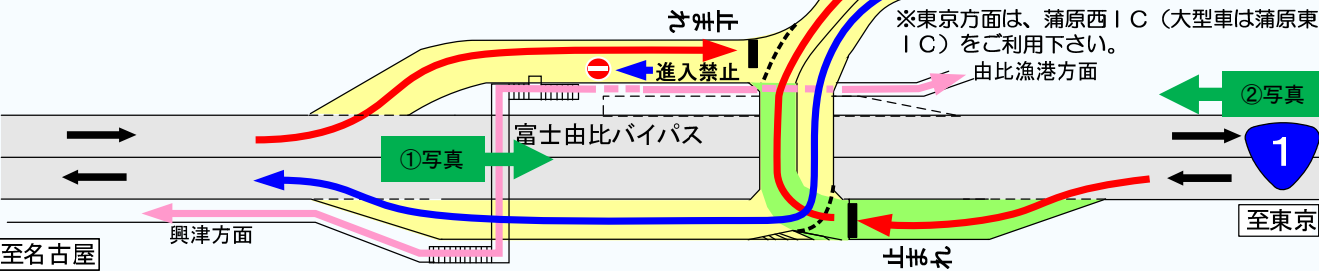
# トピックス

## 寺尾交差点における下り線分流ランプ開通のお知らせ ~今年度中の完成に向けて工事推進中!~

静岡国道事務所では、交通渋滞の解消ならびに交通事故の削減を目的とした「国道1号富士由比バイパス寺尾交差点立体化」の完成に向け、鋭意工事を推進しています。  
 この度、平成26年2月26日(水)10時に下り線分流ランプの開通時期が決定しましたのでお知らせします。  
 立体化完成時期は平成26年3月中旬を予定しています。

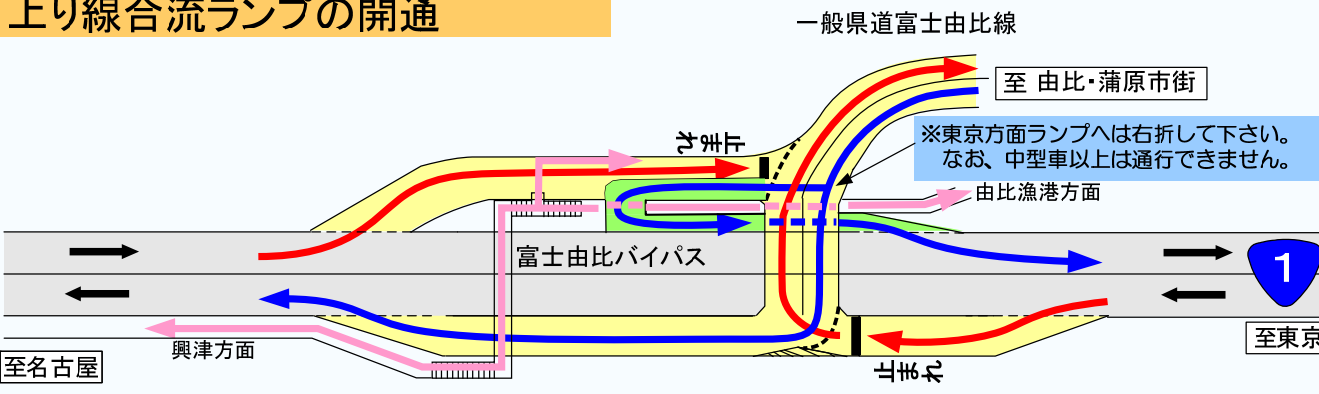
### 平成26年2月26日(水)午前10時【今回】 下り線分流ランプの開通

※接続工事のため県道から東京方面へは行けません!!



### 平成26年3月中旬(予定) 上り線合流ランプの開通

※ 日時については決定次第お知らせします。

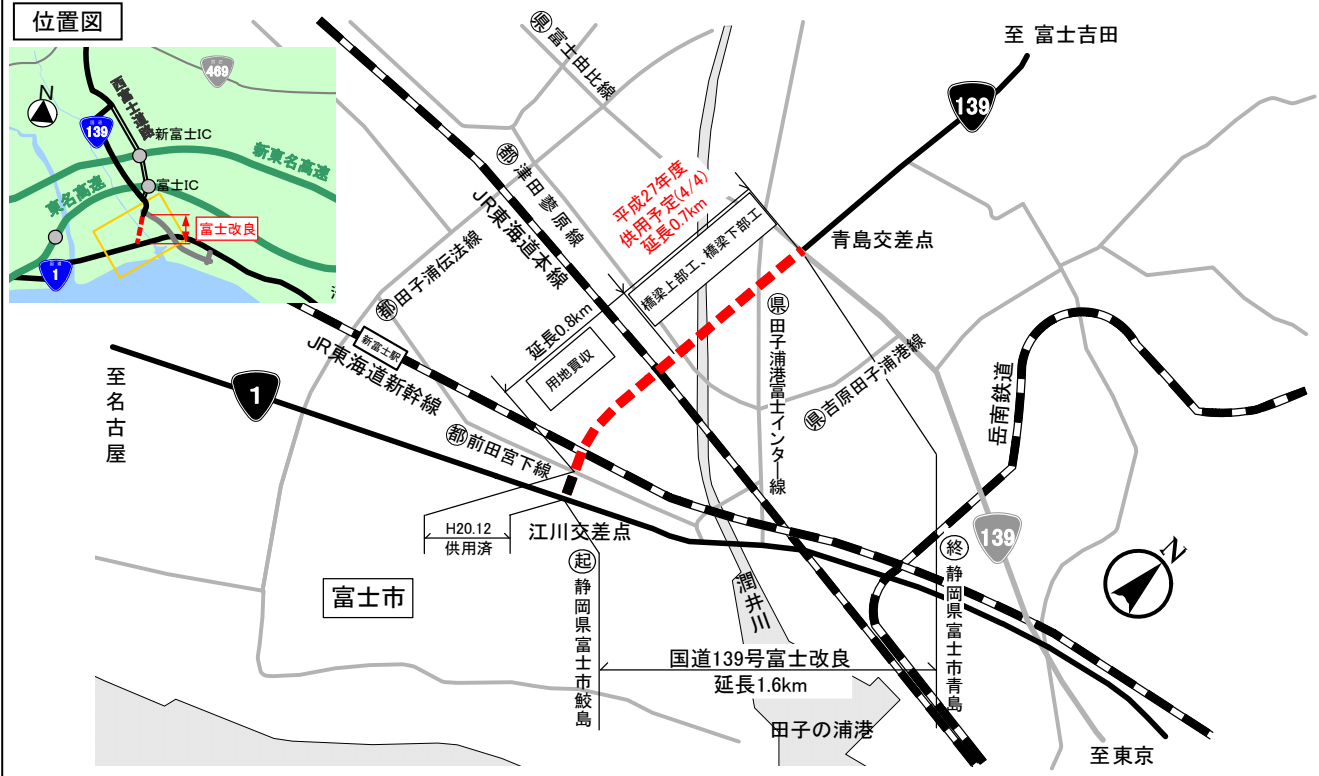


- 凡 例**
- 通行経路 国道から由比市街方向
  - ← 通行経路 由比市街から国道方向
  - ↔ 通行経路 (歩行者・自転車)
  - 新たに開通する区間
  - 県道およびアクセス路
  - 施工中の区間



# 国道 139 号 富士改良

国道 139 号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道 139 号を国道 1 号富士由比バイパスと接続させることで、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に計画された富士市鮫島から富士市青島に至る延長 1.6km の道路です。



## 事業の効果

国道 139 号を国道1号と結ぶことで、富士市街部の交通混雑緩和を図ります。  
 (都)津田蓼原線～(県)富士由比線間(延長 0.7km)については、平成 27 年度に部分供用する予定です。

## 【平成 25 年度の主な事業内容】

◆用地買収, 橋梁上下部工事



## 工事状況写真

平成 25 年 8 月撮影



完成イメージ (潤井川～県道田子浦港富士インター線)



## 「地域の主要渋滞箇所」の公表について ～官民一体で静岡県内の主要渋滞箇所を選定～

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、平成24年6月～12月にかけて検討してきた県内の渋滞箇所について、パブリックコメント（意見収集）の結果及び最新データ等による検証の上、道路利用者のみなさまが実感している「地域の主要渋滞箇所」を選定しました。

※「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」の構成員

国土交通省中部地方整備局、中部運輸局、静岡県警本部、静岡県、静岡市、浜松市、静岡県道路公社  
中日本高速道路株式会社静岡県トラック協会、静岡県バス協会、静岡県タクシー協会

### 〈県内の主要渋滞箇所※〉

一般道路（静岡県内）

290箇所

5エリア※<sup>1</sup>  
(144箇所)

29区間※<sup>2</sup>  
(68箇所)

78箇所※<sup>3</sup>

高速道路（中部4県）※<sup>4</sup>

本線19箇所（うち県内1箇所）

IC出入口23箇所（うち県内2箇所）

※) 渋滞発生状況等を踏まえ、主要渋滞箇所を「エリア」「区間」「箇所」に分類

※1) エリア…都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

※2) 区間…交差点等が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

※3) 箇所…単独で主要渋滞箇所を形成

※4) 高速道路については、各県の道路交通渋滞対策推進協議会及び中京圏渋滞ボトルネック対策協議会にて選定

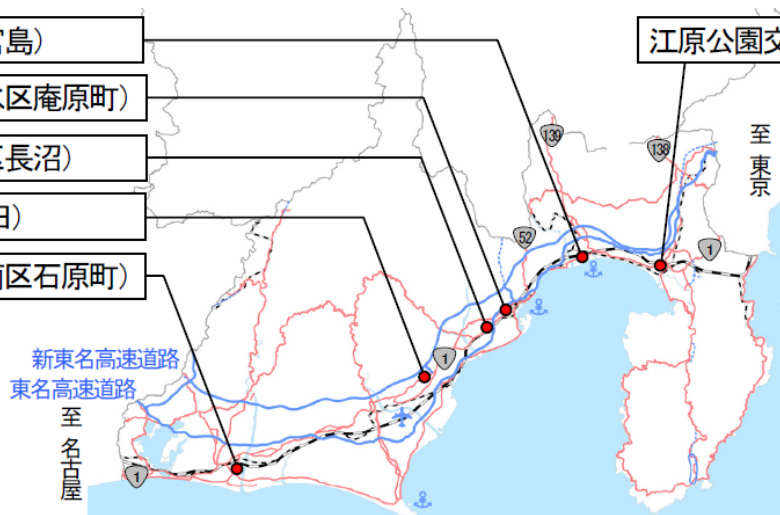
パブリックコメントの案内チラシ



### 〈選定箇所の一例〉

- 宮島東交差点（富士市宮島）
- 庵原交差点（静岡市清水区庵原町）
- 長沼交差点（静岡市葵区长沼）
- 藪田東IC（藤枝市中藪田）
- 石原町交差点（浜松市南区石原町）

江原公園交差点（沼津市東熊堂）



長沼交差点（静岡市葵区长沼）



庵原交差点（静岡市清水区庵原）



### 〈今後の予定〉

1. 対策検討に向けて、地域毎にワーキンググループを設立して議論を進めます。
2. 今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。

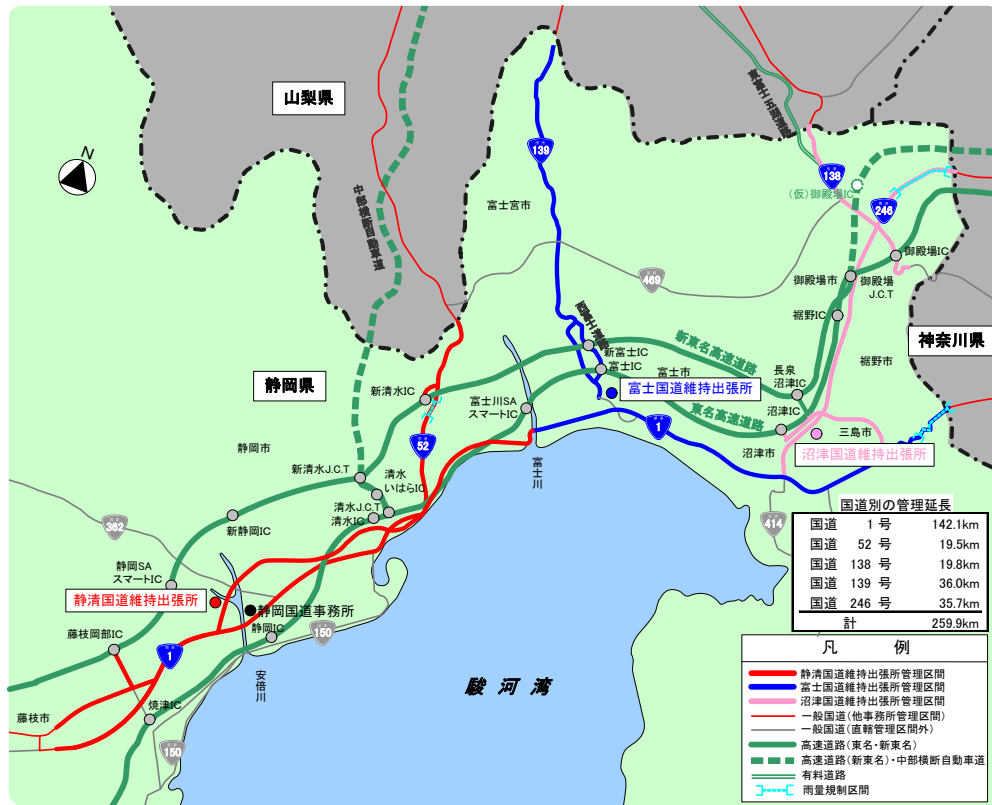


# 維持管理関係

静岡国道事務所では、静岡県東部・中部地域の国道1号・52号・138号・139号・246号の5路線約260kmを3つの国道維持出張所で管理しています。

維持管理事業では、安全・安心な「静岡」の暮らしを実現するため、日常の道路パトロール等による適切な道路維持管理をはじめ、老朽化が進行する橋梁の補修、東海地震等に備えた震災・防災対策などを推進し、今後も「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

## ◆静岡国道事務所管理道路網図



## ◆道路管理

道路パトロールによる日常的な道路管理のほか、防災点検、橋梁点検など、道路構造物の定期的な点検、雪氷作業などを実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。



【道路パトロールで発見された道路損傷の復旧】



【定期点検により橋梁をきめ細やかに管理】



【雪氷作業によりスリップ事故防止を図る】



【雨量規制区間の通行規制により二次災害を防ぐ】



【防災点検により危険箇所の有無を確認】



【緊急時も速やかに対応し「安心」「安全」を確保】

# 維持管理関係

## ■橋梁の耐震補強・補修

橋梁補修は、橋梁の高齢化や自然環境(雨、風など)、外的要因(大型車交通量など)等による損傷を補修し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害防止及び橋梁の延命化を図るために実施します。また東海地震等、大規模な地震が発生した時、道路の通行が確保されていることが被災地域の救援に不可欠です。通行、移動手段が遮断されると負傷者の搬出や救護物資の移送がままならず被害の拡大につながります。このため、大規模地震に見舞われた際、甚大な被害が生じないよう、橋梁の耐震補強を実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

## ■防災対策

落石や土砂崩れなどを防止するため、防災対策を進めています。  
対策を進めることで、異常気象時事前通行規制区間を無くします。



## 〈参考〉

### 最近の大雨等による通行止め実績 (平成26年2月28日現在)

平成 24 年	5 月 3 日	国道 1 号 興津IC、国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	6 月 19 日～20 日	国道 1 号 箱根、国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	7 月 14 日	国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	9 月 30 日～	国道 138 号 須走
	10 月 1 日	国道 1 号 興津IC、国道 138 号 須走
平成 25 年	1 月 14 日	国道 1 号 箱根、国道 138 号 須走、国道 139 号 根原
	9 月 15 日～16 日	国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	10 月 16 日	国道 1 号 興津IC
平成 26 年	2 月 14 日～18 日	国道 1 号 箱根、国道 52 号 宍原、国道 138 号 須走 国道 139 号 根原

### 雨量規制区間位置図



※小山においては、現場状況により連続雨量が 250mm に満たない場合においても通行止めを行う場合があります。



# トピックス

## 平成26年2月14日～15日の大雪に伴う雪害対応について

平成26年2月14日～15日の大雪に伴い、国道1号、国道52号、国道138号、国道139号、国道246号において、通行不能箇所の発生、倒木、通行不能車両等が頻発したことから、静岡国道事務所では、2月14日から除雪作業、自治体へのリエゾン派遣等を行いました。

### 〈雪害の概要〉

国道 1号 県境～塚原新田 24時間通行止  
国道 52号 穴原小学校～県境 倒木による通行不能  
国道 138号 県境～小山町須走 91時間通行止  
国道 139号 富士宮市外神～県境 74時間通行止  
国道 246号 通行不能車両及び交通の集中による交通マヒ  
伊豆縦貫道 三島加茂IC 通行不能車両



138号小山町須走の降雪状況

### 〈雪害対応の概要〉

日 時:平成26年2月14日(金)～3月1日(土)

対応人員:静岡国道事務所 全職員

対応内容:

#### ①除雪作業

14日5時から除雪作業を開始。

他事務所からの支援を受け、車道部については21日までに除雪を終えました。

#### ②リエゾン派遣

静岡県・御殿場市  
・小山町・甲府河川国道事務所へリエゾンを派遣し、情報収集・提供を行いました。



歩道除雪により通学路を確保  
(138号御殿場市)

### 〈対応状況写真〉



除雪作業(138号御殿場市)



除雪作業(139号富士宮市) 県境



静岡県へリエゾンの派遣



職員による歩道除雪(138号御殿場市)

## 西伊豆町への緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による支援活動について

～平成25年7月17日～18日の大雨に伴う災害～

平成25年7月17日～18日の大雨に伴い、静岡県賀茂郡西伊豆町において、土砂崩れ、洪水氾濫などによる災害が発生したことから、西伊豆町の要請を受け、中部地方整備局では7月18日からリエゾン(現地情報連絡員)を派遣するとともに、被災状況調査および路面清掃等を25日まで行いました。

静岡国道事務所は、応急対策として路面清掃作業を行いましたので、作業状況を報告します。

### 〈支援活動の概要〉

日 時:平成25年7月18日(木)～25日(木)

派遣人員:延べ53名

活動内容:

- ①リエゾンの派遣  
※リエゾン:「組織間の連絡、連携」の意
- ②防災ヘリ(まんなか号)による上空からの緊急調査
- ③被害概況調査
- ④被害状況調査・**応急対策**

### 【路面清掃作業(応急対策)】

日 時:平成25年7月24日(水)～25日(木)

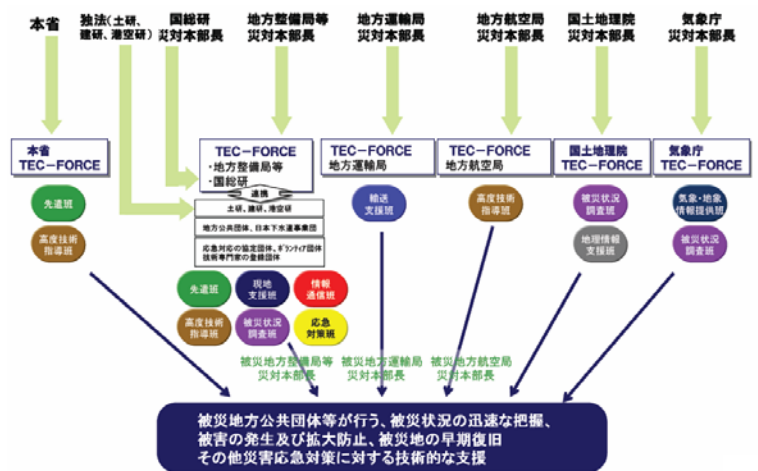
派遣人数:延べ10名(静岡国道事務所:8名)

派遣箇所:静岡県賀茂郡西伊豆町内

派遣内容:道路の路面清掃

### 〈TEC-FORCEとは〉

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、国土交通省の職員が被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するものです。



### 〈路面清掃作業の活動報告〉

大雨により道路面に流出した土砂等が乾燥し、空気中に粉じんが飛散するなど、住民の健康や交通安全に支障をきたしていたため、7月24日～25日にかけて、路面清掃車、散水車、ダンプトラック(各1台)による、5路線、5.3km、26,500m<sup>3</sup>の路面清掃を行いました。

#### 【路面清掃箇所】

7月24日: 田子地区を実施 L= 3.7 km(3路線)

7月25日: 安良里地区を実施 L= 1.6 km(2路線)





## 静岡国道事務所管内防災訓練を実施しました ～南海トラフ巨大地震等の災害に備えて～

静岡国道事務所では、平成26年1月16日(木)に、災害対応の充実を目的に、南海トラフ巨大地震を想定し(静岡県内各地で震度7～6弱が観測)、被災状況の把握、関係機関との情報収集・伝達及び応急復旧計画等の訓練を実施しました。

### 【防災訓練の概要】

日時：平成26年1月16日(木)8時45分～12時00分

訓練内容：災害対策支部の設置及び初動体制の確立  
 道路パトロール(バイク隊等)  
 関係機関(静岡市、清水・静岡・島田建設業協会)との情報収集・伝達訓練  
 応急復旧計画の検討訓練  
 防災エキスパートとの情報伝達及び出動要請訓練

場所：静岡国道事務所、各出張所、静岡市、清水建設業協会、現場：清水区西倉沢(バイク隊)

参加人数：約60名(静岡国道事務所、静岡市、防災エキスパート、建設業協会員)

### ■被災状況を現場で把握(バイク隊)



災害発生後、バイク隊が現場をパトロールし、被災状況を把握します。

### ■情報収集・伝達



現場パトロール、関係機関、防災エキスパートから被災状況等を情報収集します。

### □取材対応

### ■応急復旧計画の立案



被災状況からどのような復旧とするのか計画します。



多数の報道機関が取材に来ました。



## トピックス

### 自治体職員・事務所職員を対象に橋梁管理に関する勉強会を実施しました

静岡国道事務所は、平成25年9月10日(火)に老朽化が懸念される橋梁の維持管理について、自治体職員等・事務所職員を対象に勉強会を実施しました。

#### 【勉強会の概要】

##### ○目的

- ・自治体職員等・事務所職員を対象に老朽化が懸念される橋梁の維持管理を学んで頂く。

##### ○概要

- ・日時：平成25年9月10日(火)  
13時00分～17時00分

##### 1部 座学

- ・橋梁点検の着目点について ・橋梁補修事例の紹介

##### 2部 実地研修

- ・橋梁点検の体験等(点検機械への乗車)

- ・場所：静岡国道事務所(現場:国道1号 駿河大橋)

- ・参加者：事務所職員 42名

- 自治体職員 27名

- (静岡県・静岡市・富士市・藤枝市・焼津市)

- 合計 69名

座学



実地研修



### 静岡国道事務所職員による橋梁パトロール

～橋の健康状態を橋に聞く～

現在、高度成長期に建設された道路橋が高齢化を迎えております。そのため、適切に維持管理し、長年にわたって安心して橋を通行できる状態を維持することが重要な課題となっています。

静岡国道事務所では、職員の技術力向上と、5年に1度の橋梁点検を補完することを目的に『橋梁パトロール』を実施しています。今年度は、建設から40年以上経過した橋梁のうち、道路や公園の上に架かる橋など57橋のパトロールを実施しました。

※17班体制で12月中に橋梁パトロールを完了させました。

#### 桁下に異常が無いか確認



#### クラックの進行状況を確認



#### 鉄筋露出部分の応急処置



橋の健康状態を定期的に確認し、異常箇所や損傷等をまとめております。

# トピックス

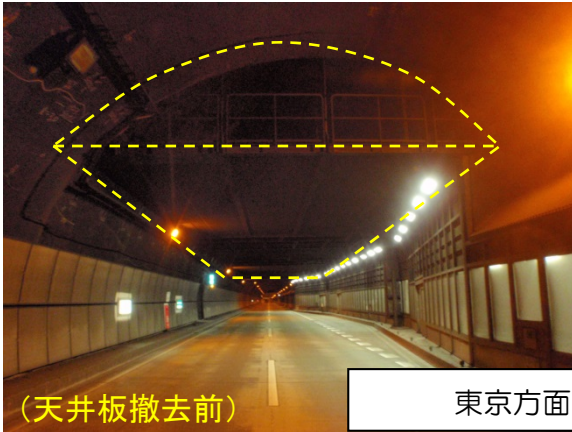
## 国道1号静岡バイパス賤機山トンネル(上り線)の天井板を撤去しました！！

静岡国道事務所では、自動車の排気ガスの低減により自然換気が可能であること、今後の点検作業の低減など管理の合理化を踏まえ、国道1号静岡バイパス賤機山トンネル(上り線)の天井板を撤去しました。

天井板撤去工事の完了に伴い、2月22日(土)6時に、国道1号静岡バイパス丸子IC～千代田上土IC間上り線(東京方面行き)の夜間通行止めを終了しました。

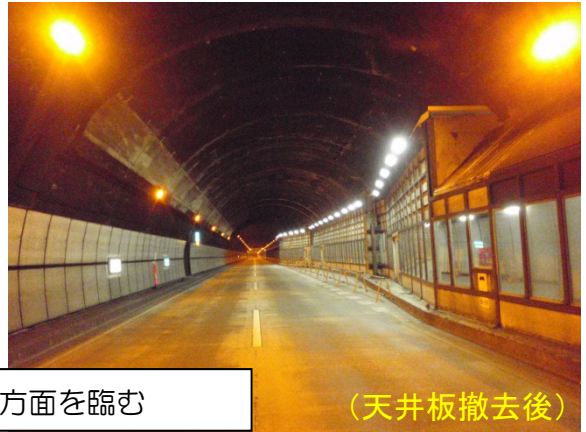
また、賤機山トンネル(上り線)の自転車歩行者道の終日通行止めについては、3月1日(土)6時に終了しました。長期間に亘り、通行止めにご協力を頂き、ありがとうございました。

### 【天井版撤去】

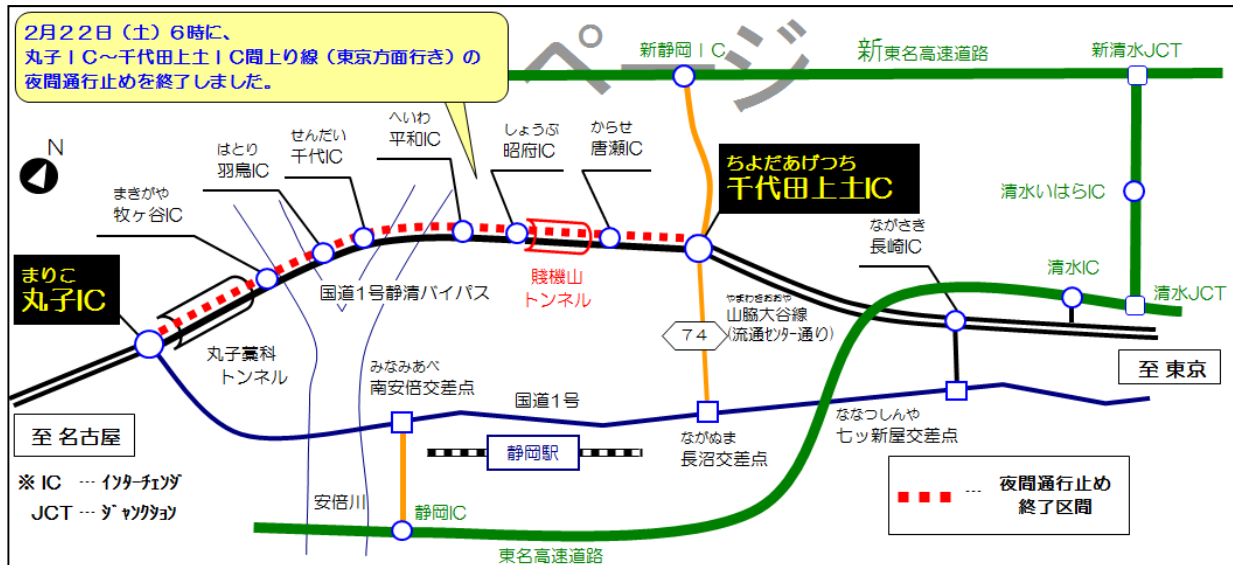


(天井板撤去前)

東京方面より名古屋方面を臨む



(天井板撤去後)





# 交通安全関係

## ■交通事故対策

静岡国道事務所管理道路の静岡県事故ゼロプラン「事故危険区間」において、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的に交通事故対策を進めます。

### 【平成 25 年度の主な事業箇所】

- |         |                        |         |                           |
|---------|------------------------|---------|---------------------------|
| ◆国道1号   | しみずえきまえ<br>清水駅前交差点改良事業 | ◆国道139号 | とざんどういりぐち<br>登山道入口交差点改良事業 |
| ◆国道1号   | ななつしんや<br>七ツ新屋交差点改良事業  | ◆国道139号 | あこうじ<br>阿幸地交差点改良事業        |
| ◆国道138号 | にまいりばし<br>二枚橋交差点改良事業   |         |                           |

### 【主な事業箇所の現地状況】



国道1号 清水駅前交差点



国道139号 登山道入口交差点



国道138号 二枚橋交差点



**平成22年12月より  
事故ゼロプランスタート!!**

平成23年度  
**静岡県事故ゼロプラン**  
～事故危険区間重点解消作戦～

静岡県内の交通事故ゼロを目指して

※本プランでは、交通事故対策を効率的に実施していくため、交通死傷事故が多発する箇所や道路利用者・地域の皆様が危険と感じられている箇所を対象にして、優先的に対策を行います。



国道1号 七ツ新屋交差点



国道139号 阿幸地交差点

# トピックス

## 国道1号清水駅前交差点改良 ～人にやさしく安全な交差点に～

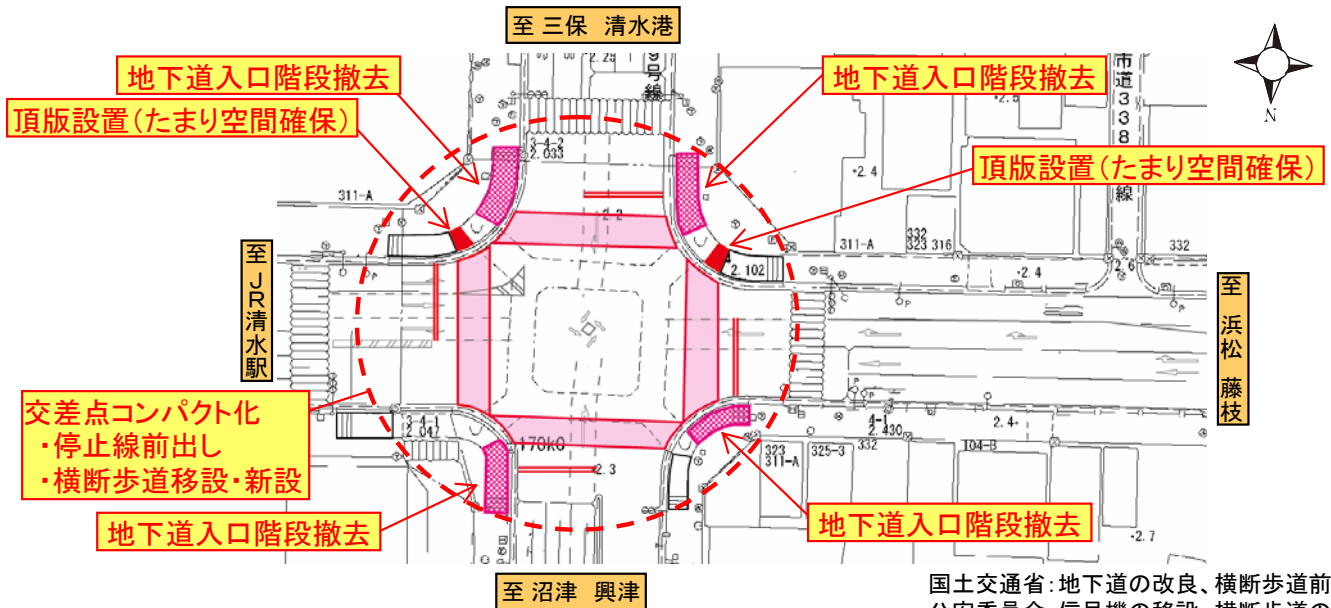
国道1号清水駅前交差点は、駅を利用する歩行者や自転車が多く、交通事故が多発しており、地域からは横断歩道を増設し、回遊性向上の要望がありました。

これを受け、平成23年度より静岡市・公安委員会・自治会と懇談会を開催し、対策を検討してきました。

この度、静岡国道事務所では、平成25年11月から国道1号清水駅前交差点の改良工事に着手しました。

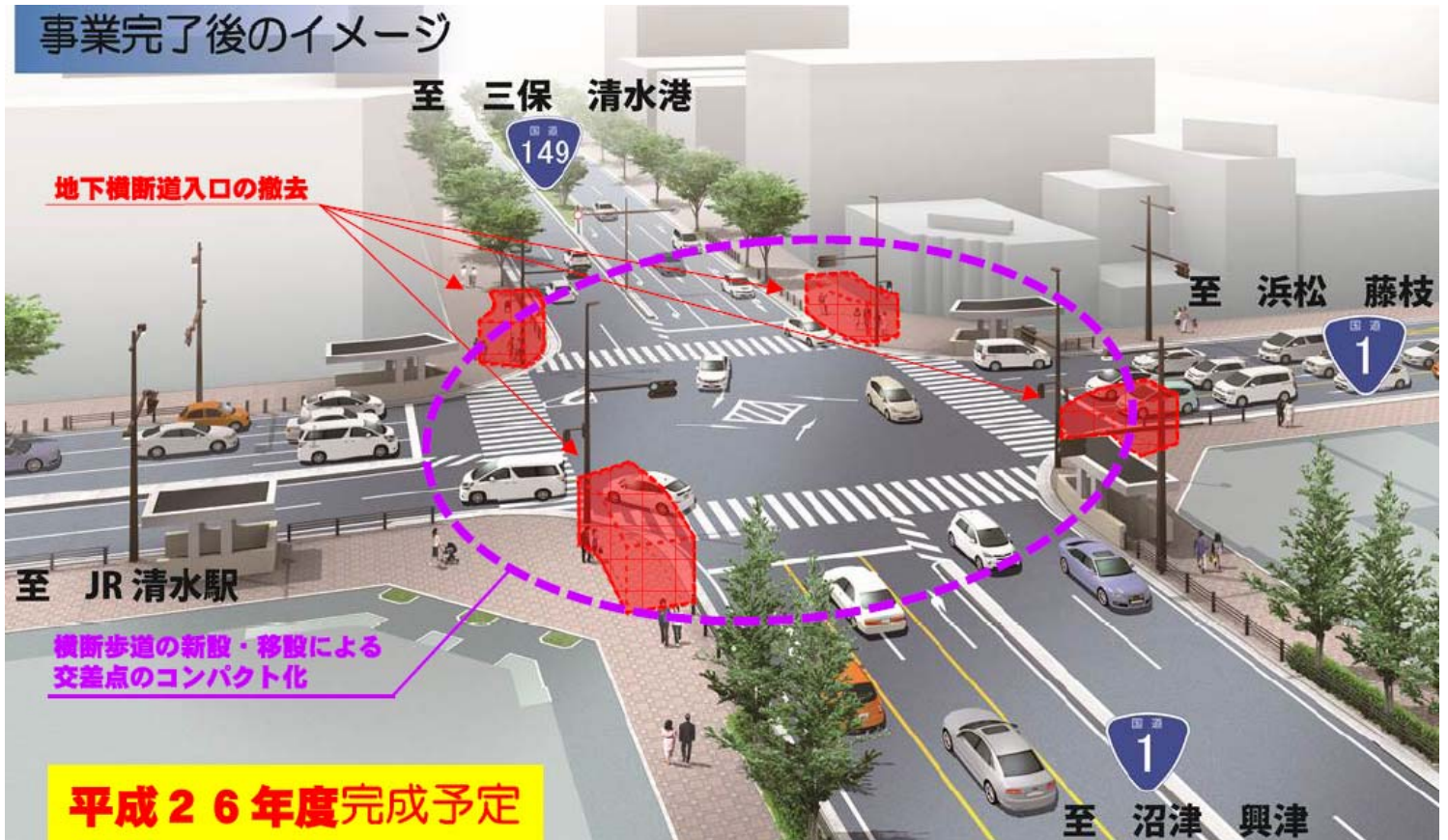
○追突・出会い頭事故対策として、**交差点のコンパクト化**を行います！！

○左折・人对車両事故対策として、一部地下道上屋を撤去することで**視認性を確保**します！！



国土交通省：地下道の改良、横断歩道前出し  
公安委員会：信号機の移設、横断歩道の増設

### 事業完了後のイメージ





## 1号静岡バイパス自転車安全利用ワークショップについて

### 【概要】

- 静岡国道事務所では、国道1号静岡バイパス（清水IC西交差点～池ヶ谷西交差点）の側道部において自転車通行空間の整備を進めています。
- 道路利用者のニーズを踏まえ、安全で快適な自転車通行空間を整備し、利用してもらうためのハード・ソフト対策を検討するとともに、自転車利用者のマナー向上を図るため、有識者と道路利用者をメンバーとしたワークショップを開催しています。

### 【目的】

1. 利用者のニーズを反映した安全で快適な自転車通行空間の創出のため、利用者の方々と一緒に対策方針を考える。
2. 自転車通行空間整備後の適切な自転車の利用を促進するため、自転車のルールやマナーを理解していただく。

### 【スケジュール】

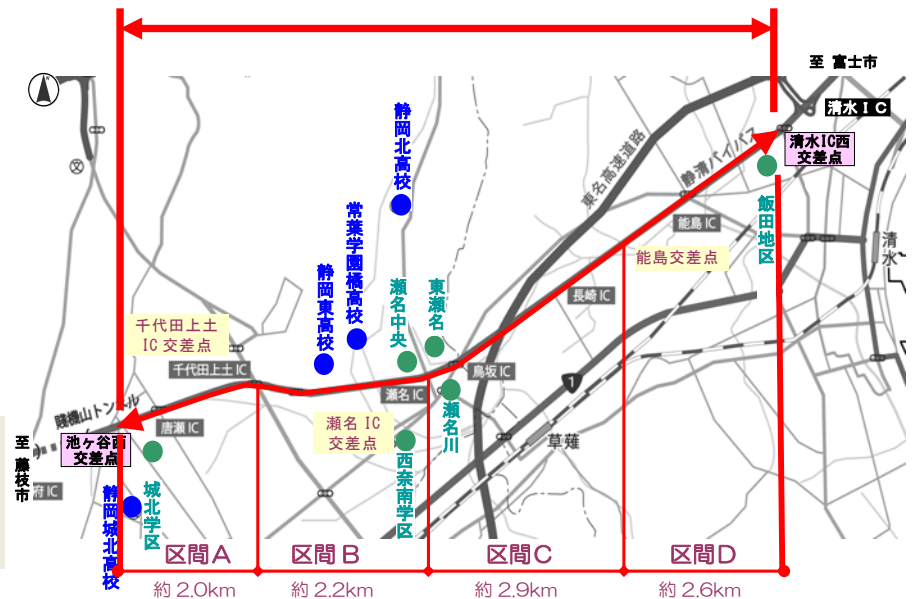
- 第1回**  
平成25年3月21日(木) ・ワークショップの概要説明  
・自転車通行ルール・マナーの勉強①
- 第2回**  
平成25年7月11日(木) ・課題の抽出・共有
- 第3回**  
平成25年9月26日(木) ・自転車通行空間のあり方の意見交換  
・自転車通行ルール・マナーの勉強②
- 第4回**  
平成25年11月13日(水) ・課題への対策方針の検討  
・自転車通行ルール・マナーの勉強③
- 第5回**  
平成26年1月30日(木) ・自転車通行空間の整備方針の決定  
・自転車通行ルール・マナーの勉強④

## ■対象範囲

検討対象：静岡バイパス側道部（清水IC西～池ヶ谷西交差点）延長=約10km

ワークショップでは、対象区間を4区間（区間A～D）に分け、班毎に各区間における自転車通行空間を議論しました。

- 1班：区間A
- 2班：区間B
- 3班：区間C
- 4班：区間D



## ■ワークショップのメンバー

ワークショップでは道路利用者である沿道住民の方や学生、プロドライバー、行政などが参加し、学識者や専門家の意見を伺いながら、意見交換を行いました。

	氏名・所属等
ファシリテーター	埼玉大学大学院 小嶋文助教
専門	しずおかモビリティ研究会 村井裕代表
沿道住民	沿線の連合自治会
自転車利用者	沿線の高等学校
プロドライバー	タクシー協会
自治体	静岡市、静岡県
警察	静岡県警察
交通安全協会	静岡県交通安全協会
事務局	静岡国道事務所（交通対策課）



## 第5回 1号静清バイパス自転車安全利用ワークショップを開催しました！！

第5回ワークショップでは、32名の方にご参加いただきました。静清バイパスにおける自転車通行空間の整備方針とともに、ソフト施策の取組みに関して意見交換を行いました。

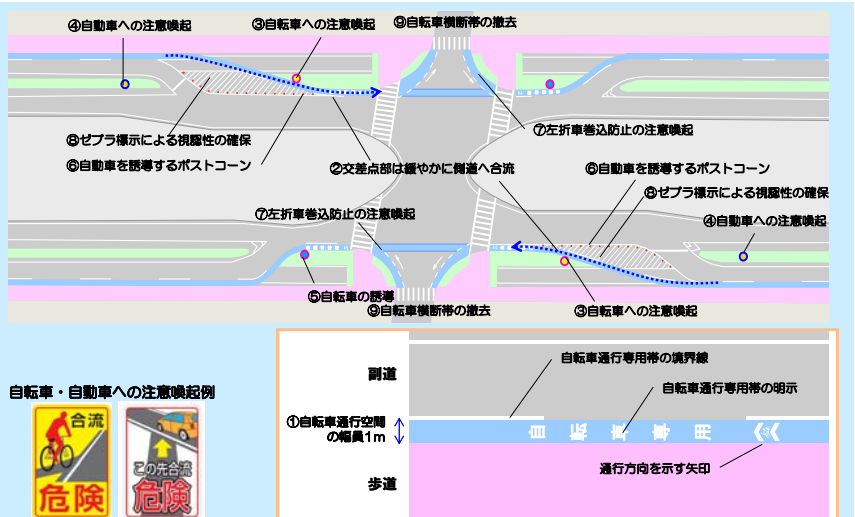
### ① 自転車通行空間の整備方針に関する意見交換

事務局より提案した自転車通行空間の整備方針を確認し、概ね了承をいただきました。さらなる安全対策について意見交換を行いました。

#### 副道がある場合

##### ●整備方針

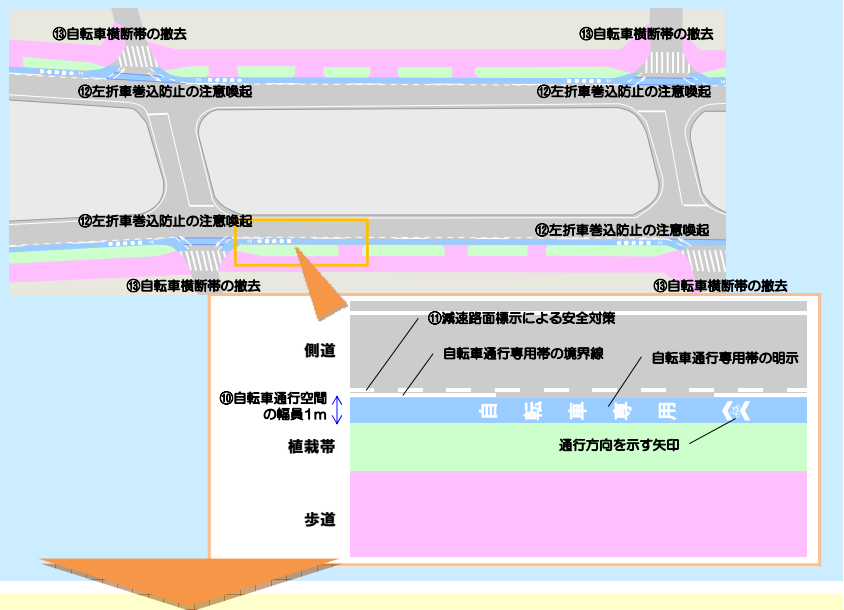
- ①自転車通行空間の幅員 1m
- ②交差点部は緩やかに側道へ合流
- ③自転車への注意喚起
- ④自動車への注意喚起
- ⑤自転車の誘導
- ⑥自動車を誘導するポストコーン
- ⑦左折車巻込防止の注意喚起
- ⑧ゼブラ標示による視認性の確保
- ⑨自転車横断帯の撤去



#### 副道がない場合

##### ●整備方針

- ⑩自転車通行空間の幅員 1.0m
- ⑪減速路面標示による安全対策
- ⑫左折車巻込防止の注意喚起
- ⑬自転車横断帯の撤去



#### ●安全対策に関するご意見

- ・車高のある自動車が自転車を確認するミラーを設置してほしい。
- ・交差点部、副道と側道の合流部、自転車通行空間の幅員が十分に確保できない区間においては、自動車・自転車の双方への注意喚起を行ってほしい。

#### ●利用しやすさの向上に関するご意見

- ・信号待ち自転車の滞留場所を確保した方がよい。
- ・自転車通行空間において、段差や傾斜等、現状の路面状況が悪い部分がある。配慮した整備としてほしい。

#### ●特殊部や交差道路に関するご意見

- ・静清バイパスから交差道路への左折車が多い交差点（唐瀬ⅠC交差点・千代田上土交差点など）や副道と側道の合流部が近接する交差点（鳥坂ⅠC交差点など）は、安全性を踏まえ個別に検討してほしい。
- ・静清バイパスのみでなく、交差道路においても自転車通行空間の確保を検討した方がよい。
- ・特に、自転車通学路となる道路は横断方法も踏まえて検討した方がよい。 など

## ②ソフト施策の取組みに関する意見交換

事務局より提案した通行ルールやマナーを浸透させるソフト施策の取組み（案）を参考に、実際に取り組んでいる内容や今後の取組みに関するアイデアについて意見交換を行いました。

### ■ソフト施策の取組みに関する事務局案

	内容	主体
ルール周知とマナー向上	供用開始後の通行ルールの周知と指導	警察
	静清バイパス自転車通行空間を活用したサイクリングイベントの開催	交通安全協会 静岡市 地域住民 NPO
	余裕のある通勤・通学の推奨（朝活！30分前登校のススメ）	学校 企業
	学校における安全教育（整備後の現地で実践練習）	学校 警察
愛着の醸成	静清バイパス自転車通行空間の名称募集	国土交通省 静岡市
	静清バイパス自転車通行空間の活用に向けた意見箱の設置	学校
	自転車通行空間の運用ルールの作成	住民

### 実際に取り組んでいる内容

- 警察
  - ・幼稚園から交通安全教室を実施
  - ・小学校4年生に対しては自転車ルールの試験を行い、自転車免許を発行
- 静岡東高校
  - ・交通安全委員による駐輪指導
  - ・警察、交通指導員、生徒、教員、保護者による街頭指導
  - ・安全教室の開催（4回/年）

### 今後の取組みに関するアイデア

- ・「自転車は歩行者でも自動車でもなく、自分勝手に乗れる乗り物」という考え方を切り替えられるような取り組みが必要である。
- ・交通安全や自転車ルール・マナーについて家庭でも会話することが大切である。
- ・自転車利用者が参加できるイベントとして川柳を募集すると、楽しくルールやマナーを理解でき、愛着をもちやすい。
- ・「余裕のある通勤・通学の推奨」は家庭でも行うとよい。
- ・自転車を運転する生徒の中には「運転者」としての自覚が少ない生徒もいる。学校において、アンケートや各教室での話し合いが必要だと思ふ。 など



意見交換の様子



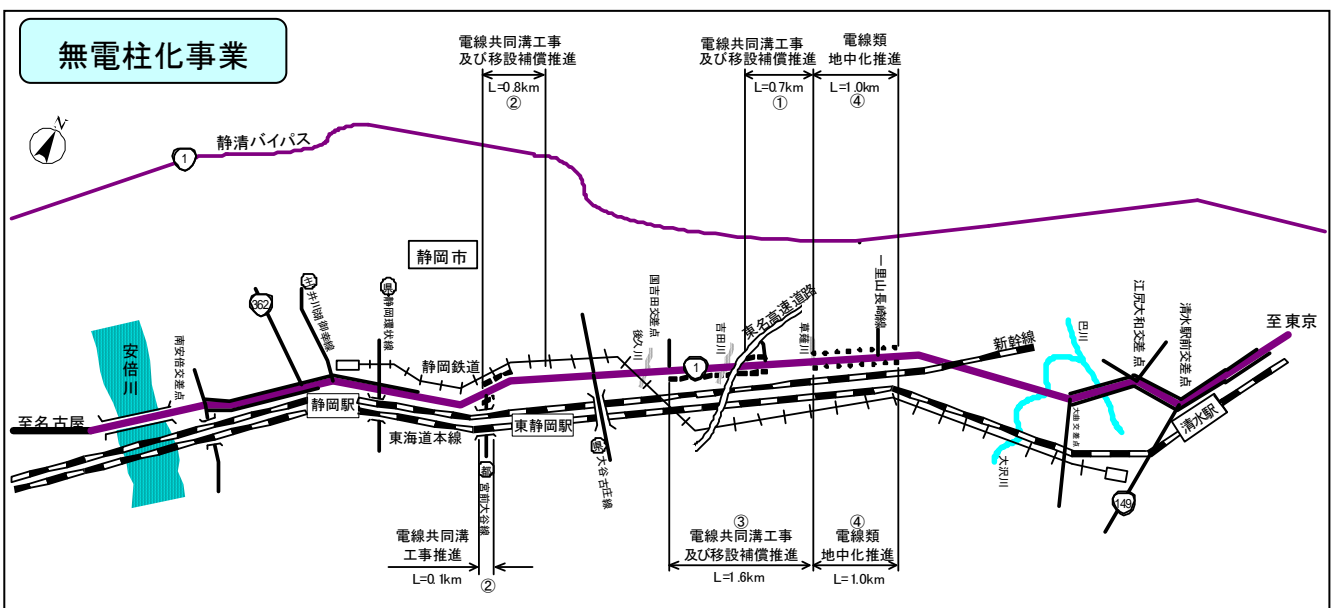
意見交換の様子

# 国道1号 無電柱化

歩道上の電柱や電線類を無くし、快適で安全な歩道空間を確保するために、上空の電線類を地下にまとめて収容する「電線共同溝」を整備しています。電線共同溝の整備により、歩道空間が広くなり歩道の景観が美しくなるばかりでなく、災害時などの二次災害に対する安全性も向上します。

## 【平成25年度の主な事業箇所】

- ① 静岡市清水区楠新田～駿河区中吉田 (L=0.7km) の本体工事及び移設補償を推進
- ② 静岡市葵区柚木～同区宮前町 (L=0.8km) の本体工事及び移設補償を推進
- ③ 静岡市清水区楠新田～駿河区国吉田 (L=1.6km) の本体工事及び移設補償を推進
- ④ 静岡市清水区七ツ新屋～同区楠新田 (L=1.0km) において歩道上の電線類の撤去(無電柱化)を推進





# ボランティアサポートプログラム

道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという地域の皆さんの自然な気持ちを、形あるものにしようと思ったのが「ボランティアサポートプログラム」です。地域の皆さんの「みち」をきれいにしようという活動から始まって、地域コミュニティの活性化が期待できます。

平成25年度 実施団体	活動内容
○国道1号 <b>7団体</b>	歩道の清掃 植樹帯(花)の管理
○国道246号 <b>2団体</b>	

## 【平成25年度の主な活動内容】

- ◆活動団体の募集(国道1号、52号、138号、139号、246号)
- ◆「地域の皆様と『みち』をきれいにしよう」との考えのもと、国道1号・国道246号の美化及び清掃活動を実施

## <平成24年度 大臣表彰>

団体名:大岩四丁目町内会

平成9年より、国道1号静岡バイパス静岡市葵区大岩四丁目地内の花壇整備、草刈りやゴミ拾い等を実施して頂き、道路の美化に貢献していただいております。



活動の様子



平成24年8月27日表彰

## 静岡県内【中学生の部】初！ ～平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語で優秀賞受賞～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」の行事の一環として、あらためて道路の役割及び重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間の推進標語を募集しました。

全国から7,663作品の応募があり、【中学生の部】の優秀賞に近藤海太さん(静岡市立城内中学校の作品)が選ばれました。推進標語での【中学生の部】の受賞は静岡県内で初めてです。

そこで、平成25年8月27日(火)に静岡市立城山中学校で静岡国道事務所長より、近藤海太さんへ表彰状を伝達しましたのでお知らせします。

### 【中学生の部】優秀賞

#### 「新しい人との出会い つなぐ道」

静岡市立城内中学校 近藤海太さん



静岡国道事務所長より受賞のお知らせ



近藤海太さんへ表彰状の伝達

# トピックス

## 日本風景街道 ～静岡国道事務所管内の風景街道の紹介～

日本風景街道は、住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」への取り組みです。国土交通省が全国127ルートを登録し、「よろこび」や「感動」など地域の活性化に向けた活動が展開されています。

### 〈日本風景街道のイメージ〉



### 〈静岡国道事務所管内の「風景街道」〉

#### ぐるり・富士山風景街道

日本一の山・富士山の見える道風景と裾野に広がる巡りの道を中心に、美しい地域と道空間作りの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した取り組みです。

#### ○平成25年度 主な活動予定

1. 案内サイン集約化への取り組み
2. 「富士山古道・トレイル研究会」にて、富士山周辺トレイルルートの検討作業
3. プチメンテナンス(ゴミ拾い、草刈り等)



世界遺産登録された富士山の眺望



構成資産のひとつ「白糸の滝」

#### 東海道「駿河2峠6宿風景街道」

静岡市にある東海道の6つの宿場と2つの峠を道における地域ブランドとして、“歩いて楽しむ”旅のスタイルを確立し、街道観光という新しい価値の創出を目指した取り組みです。

#### ○平成25年度 主な活動予定

1. 環境整備事業
  - ・宇津ノ谷峠にて景観維持のための草刈り等
  - ・府中宿つつじ通りにて街道みがき(プチメンテナンス)を実施
2. 情報発信事業
  - ・フォトコンテストの成果を使ったPR活動
  - ・かわら版の発行(宇津ノ谷峠周辺世帯に配布)
  - ・SNSによる情報発信



うつのや「宇津ノ谷峠」の明治時代に掘られたトンネル



「江尻宿」清水港と富士山



## トピックス

### 日本風景街道 ～日本風景街道大学・ふじのくに静岡校～

平成26年2月14日(金)、15日(土)に静岡県庁と常葉大学水落校舎を会場として、「日本風景街道大学・ふじのくに静岡校」が開催されました。今回の静岡校へは、全国各地から約160人の方々が参加し、活発な議論がなされました。

#### 〈全体テーマ〉

「日本風景街道」に関わる地域の思いと誇りを長く持ち続けられる制度にするために、日本風景街道の自立・充実・飛躍をめざして「心」(人)・「技」(知恵と技術)・「体」(仕組み・制度)について知恵を出し合い、形に表し、提案する。

#### 〈活動の紹介〉

##### ◇主催：日本風景街道大学・ふじのくに静岡校 実行委員会

##### 1日目(会場:静岡県庁)

・「日本風景街道の取り組み紹介」 中部地方整備局 道路部長 上坂克巳

・3つのテーマごとに車座形式で討議

◇「心」人に関わること(人材発掘と育成、思いの継承)

◇「技」拡大・充実の知恵と技術(中間支援、企業連携、日本風景街道ブランドの確立)

◇「体」日本風景街道の制度(コミュニティ・シンクタンク、仕組みと制度、活動費の確保及び支援策)



川勝 静岡県知事による来賓挨拶



上坂 道路部長による日本風景街道活動紹介



テーマ別討議の様子

##### 2日目(会場:常葉大学水落校舎)

・3つのテーマについて各座長からの報告

・2つの個別テーマについてワークショップを実施

◇「日本風景街道のブランドカアップの戦略や他セクターとの連携、資金獲得方法」  
～東海道「駿河2峠6宿風景街道」を事例に～

◇「日本風景街道トレイル・ルート等」  
～「ぐるり・富士山トレイル」を事例に～

##### フィールドワーク(東海道「駿河2峠6宿風景街道」 宇津ノ谷峠)

・古代、中世、近代、現代の道が集中。「道の駅エコミュージアム」の拠点でもある宇津ノ谷峠にてフィールドワークを実施。



座長による報告



ワークショップによる議論



フィールドワーク参加者で記念撮影

**国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所**

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号

お問い合わせ：TEL 054-250-8900（代表）・FAX 054-252-5747・E-mail：sizukoku@cbr.mlit.go.jp

静岡国道出張所	〒420-0941 静岡市葵区松富 1-3-23	TEL:054-273-2230	FAX:054-273-2298
静岡国道維持出張所	〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷 2075	TEL:054-278-5181	FAX:054-277-3467
沼津国道維持出張所	〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩 1027-1	TEL:055-986-1122	FAX:055-988-7632
富士国道維持出張所	〒417-0001 富士市今泉 337-1	TEL:0545-52-5650	FAX:0545-57-5006

<p>インターネットからの情報確認は・・・</p> <p>しずこく <input type="text"/> 検索 </p> <p><a href="http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/">http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/</a></p>	<p>しずこく <small>携帯電話からご利用いただけます。</small></p> <p>モバイルサイト&gt;&gt;</p> <p><small>※一部の機種では見られない場合があります。</small></p> <p><a href="https://www2.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/mobile/">https://www2.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/mobile/</a></p>  
--	---